



「会社と共に」取り組む経営環境改善に向けて 中央執行委員会見解を発出！

令和3年5月15日、本部は「『会社と共に』取り組む経営環境改善に向けて」中央執行委員会見解を発出した。この中では、コロナ禍で会社の厳しい情勢が続くなか、JR東日本グループ全体で働く社員の皆さんと共に、グループを含めた会社の置かれている危機感と将来への希望をもって、「会社と共に」乗り越える心一つにして取り組む決意を述べ、会社にも手交しました。

要点

- 今回のコロナ禍は、私たちを取り巻く社会が大きく変化するという点で従来とは大きく異なっている。10年後に想定していた社会が一気に到来したとあってよい社会の転換点であり、**JR産業の大きな節目**として捉えなければならない。
- 会社の性急ともいえる施策の実施や、方向性の定まらない黒字化への取り組みが現場社員には矛盾に感じ、社員に不信感が出始めている。会社は、**頑張る社員を敬う**会社の姿勢がとても重要ではないかと考える。
- 信頼関係にある新たな労使関係を創出し、会社と共に進む社員を醸成させなければならない。イーストユニオンは、「**会社と共に**」から真摯に会社に向き合い、目標が見えてきた時に**グループを含めた全体で「会社が全社員へ向けた評価」が正しく**できるように、労働組合としての位置づけからしっかりチェックしていく。
- JR東日本グループ全体で働く社員の皆さんと共に、コロナ禍の**難局**を乗り越え、希望が満ち溢れるJR東日本、東日本グループをイーストユニオンと共に創りましょう。そのために「**会社と共に**」心ひとつにして頑張りましょう！

(全文は別途、HP、機関紙 JUSTICE に掲載予定)



貨物鉄産労



ジェイアール・イーストユニオン 中央本部

私たちの取り組みをご覧ください！ <http://jrtu-eu.com/>

